



# みなみっ子

36号

令和8年7月6日(月)

南城市立大里南小学校

文責 校長 與儀 毅

学校教育目標

自立

協働

創造

## 1年生のアサガオの育て方は例年の方法を変えました！

1年生の生活科の学習で、アサガオを育てる場合、これまでキットを使用していましたが、今年は使用しない挑戦をしています！経費削減だけが目的ではありません！

### 1 キットを使用しない栽培のメリット

既製品のキットを使わず、あえて「学校にあるプランター」「竹や木の枝での支柱」「ゴーヤーネット」などを工夫して使うことには、生活科の目標である「自然への気付き」や「探究心を育てる」上で多くのメリットがあります。

「自分で工夫する」体験が生まれる：キットは誰でも失敗なく育つよう最適化されていますが、使わない場合は「どんな土がいいかな？」「はちの大きさは足りるかな？」と、子ども自身が考える余地が生まれます。

### 2 蔓(つる)が伸びてきたらどうする？(学習のポイント)

蔓が伸び始める時期は、アサガオの成長が急加速するダイナミックな変化の時期です。ただ支柱を立てるだけでなく、以下のような「気付き」を促すアプローチが効果的です。

#### ① 蔓の「巻き方」を観察する(大発見のチャンス！) 問いかけの例：「蔓はどちらの向きに巻いているかな？」

学習のポイント：アサガオの蔓は、上から見て「反時計回り(左巻き)」に巻き付きます。これを無理に逆向きに巻き付けようとすると、蔓は自分で元に戻ろうとするか、うまく登れません。「アサガオのこだわり(性質)」を大発見させるチャンスです。

#### ② 支柱を立てて、優しくサポートする 活動内容：蔓が他のお友達の手や、地面にダラリと伸びてしまう前に支柱を立てます。

学習のポイント：キットのリング式支柱と違い、竹の棒などを立てる場合は、蔓の先を優しく支柱に近づけてあげたり、麻紐でふんわりと結んであげたりする「お世話」が必要です。「上に行きたいんだね」「がんばれ」と、命をいたわる気持ちを育みます。

#### ③ 「どこまで伸びるか」を予想・記録する 活動内容：自分の背丈や、教室の窓枠など、身の回りのものと高さを比べます。

学習のポイント：「先生の背の高さまで行くかな？」「どこまで登りたいんだろう？」と問いかけることで、これからの成長への期待感を膨らませます。

#### ポイント

キットを使わない栽培は、支柱が倒れやすかったり、土の乾燥が早かったりと、小さなトラブルも起こりやすいです。しかし、生活科では「失敗から学ぶこと」も立派な学習です。

「あ、支柱が倒れちゃったね。どうすればしっかり立つかな？」と一緒に考えていくプロセスこそが、1年生の子どもたちの思考力を大きく伸ばします。



## キットを使わないアサガオ栽培：子どもたちの「探究心」を育てる学びのヒント

アサガオ栽培において、あえて既製品のキットを使わず身近な道具を工夫して使うことは、子どもたちの思考力や「命をいたわる気持ち」を育む絶好の機会となります。本インフォグラフィックでは、そのメリットと、蔓(つる)が伸びる時期に注目すべき学習ポイントをまとめます。

### 「キットなし」だからこそ育つ3つの力



#### 「自分で工夫する」思考力

道具選びや土の量を自分で考えることで、探究心の土台が築かれます。



#### 変化への敏感な気づき

土の乾燥などのサインに気づき、植物の「育つ力」をリアルに実感できます。



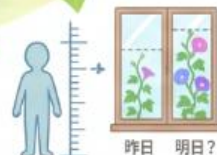
#### 失敗から学ぶレジリエンス

支柱が倒れるなどのトラブルを解決するプロセスが、思考力を大きく伸ばします。

### 蔓(つる)の成長で見つける「大発見」

#### 反時計回りの「こだわり」

蔓は必ず左巻き(反時計回り)に巻くという固有の性質を観察します。



#### 成長の予想と記録

自分の背丈や窓枠と比べることで、次の成長への期待感を膨らませます。

#### 手をかける「お世話」の体験

蔓を支柱へ誘導したり紐で結んだりして、命をいたわる心を育みます。